

心の輪 12R



『**目標は小刻みに**』という資料を通して、
「**目標に向かう意志**」について考えました！



自分はいつもできないことがあったら諦めていたけど、どんなことも少しずつ、毎日、一日も欠かさずにすることが大切なんだなあと思いました。そして、どんな時も諦めないことが大切だと知りました。

目標を大きく考えずに、小刻みに目標を立てることで、頑張ろうという気持ちになると思うから、自分も目標を立てる時には、小刻みに考えようと思った。

自分の夢に向けて、その過程として小刻みに目標を決めて一つずつ達成していくことが大切だと思った。また、小さな目標でもやる気が出なかったりすることもあると思うけど、ご褒美を決めたりして達成できるようにしようと思った。

目標を小刻みにすることは大切だけど、その小刻みの目標に向かうまでに、やる気にならない時もあるから、そういう時は、その先を考え、自分とも戦いながら頑張っていきたいです。

目標を小刻みにすることで、大きな成果を感じたり、少しでも気持ちが楽になったりするので、大切だと思いました。これからは、目標を小刻みにして、コツコツと目標に向かっていきたいと思います。

いきなり大きな目標を立てると無理な感じがするけど、小さい目標だと成功すると嬉しいから、それが2、3回成功すると自信につながる。それを積み重ねると大きな目標も達成できるようになるから、目標を小刻みにすることは大切だと思った。

遠い目標は、すぐには達成できなくて諦めてしまうかもしれないけど、小刻みにしたら頑張れると思うから目標を小刻みにすると良いと思った。

将来に向けて大きな夢をもつことは
あなたの可能性を
大きく引き出してくれるだろう。
そうした大きな夢の実現のために
少し努力すれば手の届きそうな
小さな目標の実現から始めてみよう。

Boys, be ambitious



少年よ 大志をいだけ
クラーク

■ウィリアム・スミス・クラーク (1826~1886)
アメリカの教育者。明治の初め札幌農学校(現北海道大学)に招かれ、後年代日本の発展に尽力する多くの若者を指導した。

文部科学省資料
『心のノート』P.17より引用

目標を小さくすることで、目標が少し簡単になり、その目標をクリアした時に達成感が出て、また次の目標に向かって頑張ろうという気持ちが湧いてくる。簡単だから、またクリアし、次へ、また次へという気持ちになる。だから目標を小さくすることは大切だと思う。

大きな目標を一気に頑張ると、やる気が無くなり、しんどくなるけど、小刻みにすると、少しずつだけ進むことができるから、小刻みにすることは大切だと思った。

大きな目標だと、それを達成するまでに道のりが長く、諦めてしまいそうになるけど、小刻みにすることで、そこまでは頑張ろうと、少しずつ目標に近付いてくるから、これからは目標を小刻みにしてみようと思った。

目標を大きくすることで、「まだまだかぁ…」と絶望感を感じてしまうので、一つ一つ目標を小さくすればいいと思った。たとえ0.1くらいの目標でも、10回達成すれば1になり、20回達成すれば2になる。少しずつでいいから、10にしていけばいいと思った。